

## 第2章 調査結果の概要

### 1 健康状態に関する事項

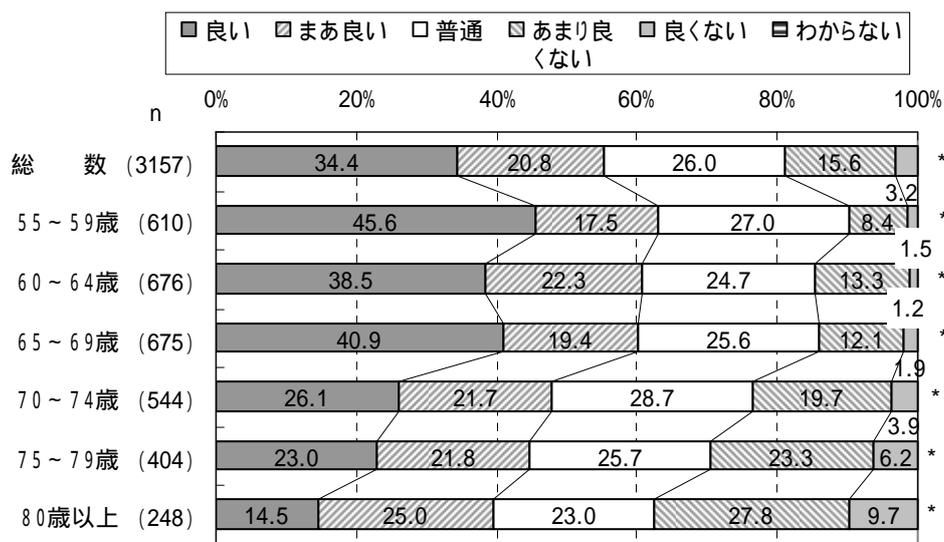
#### (1) 現在の健康状態 (Q1)

「現在の健康状態」について尋ねてみると、総数では「良い」が34.4%と最も高く、「普通」が26.0%、以下、「まあ良い」が20.8%、「あまり良くない」が15.6%、「良くない」が3.2%の順となっている。

年齢別にみると、55～59歳では「良い」が45.6%を占め、「普通」が27.0%、「まあ良い」が17.5%、「あまり良くない」が8.4%、「良くない」が1.5%の順となっている。

60～64歳、65～69歳では「良い」が約4割で最も高く、「普通」、「まあ良い」、「あまり良くない」と続く。55～59歳と比べて、「あまり良くない」の比率がやや高くなるが、「良い」「まあ良い」の比率の合計は概ね6割とほぼ同水準にある。70歳以上になると、年代とともに「良い」の比率が低くなり、「あまり良くない」の比率が高くなる傾向がみられる。75歳～79歳では、「良い」「まあ良い」「普通」「あまり良くない」にほぼ均等に分散している。80歳以上になると、「あまり良くない」が27.8%で最も高くなり、「良い」は14.5%で最も低くなっている。

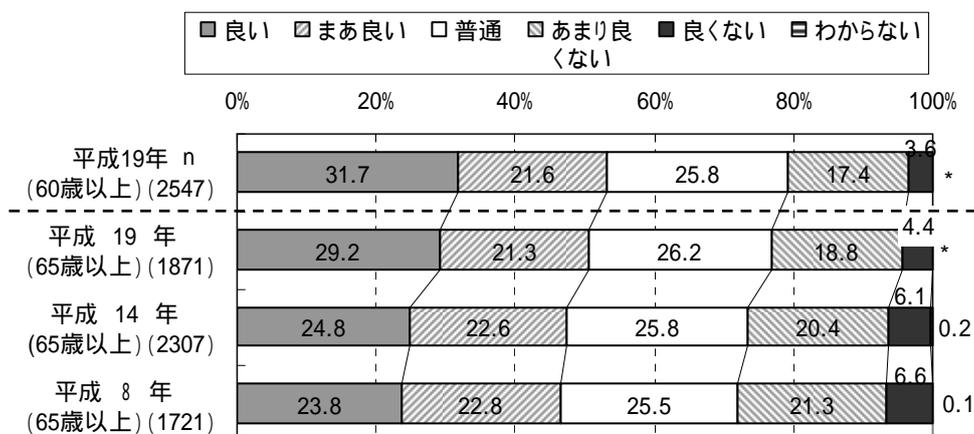
図1-1-1 現在の健康状態 (Q1)



(注：図中の\*は、該当項目が設定されていなかったことを示す)

65歳以上について時系列にみると、平成14年調査では「普通」が25.8%、平成8年調査でも「普通」が25.5%で最も高いのに対し、今回調査では「良い」が29.2%で最も高くなっている。また、「あまり良くない」「良くない」を合わせた比率は、平成14年調査では26.5%、平成8年調査では27.9%であったが、今回調査では23.2%となっており、改善傾向がみられる。

図1-1-2 時系列にみた現在の健康状態（Q1）



<総数>

都市規模別にみると、すべての都市規模で「良い」が最も高く、次いで「普通」「まあ良い」となっている。

性別にみると、「良い」は女性よりも男性で高くなっている。

未婚・既婚別にみると、「あまり良くない」「良くない」の比率の合計は、既婚（配偶者と離別）の29.1%が最も高く、次いで既婚（配偶者と死別）の26.9%である。

<55～59歳>

都市規模別にみると、すべての都市規模で「良い」が最も高く、次いで「普通」「まあ良い」の順となっており、目立った差はみられない。

性別にみると、「良い」は女性よりも男性で高くなっている。

未婚・既婚別にみると、「良い」は未婚が51.3%で最も高く、既婚（配偶者あり）が47.0%、既婚（配偶者と死別）が33.3%、既婚（配偶者と離別）が28.6%と順に低くなっている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、すべての都市規模で「良い」が最も高く、次いで「普通」「まあ良い」の順となっており、目立った差はみられない。

性別にみると、「良い」は女性よりも男性で高くなっている。

未婚・既婚別にみると、「良い」は既婚（配偶者あり）が34.1%で最も高く、未婚、既婚（配偶者と離別）がいずれも25.0%、既婚（配偶者と死別）が22.1%で最も低くなっている。

表 1 - 1 - 1 属性別にみた現在の健康状態 ( Q 1 )

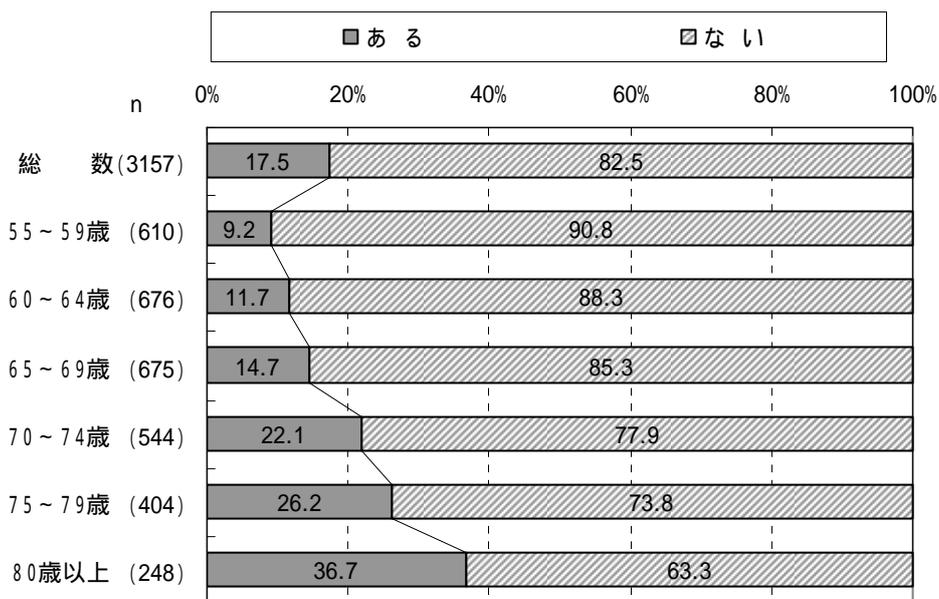
(単位：%)	総数	良い	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない	良い (計)	良くない (計)
**【総数】**	3157	34.4	20.8	26.0	15.6	3.2	55.2	18.8
(都市規模別)								
大都市	703	34.3	21.6	24.3	15.5	4.3	55.9	19.8
中都市	1262	35.2	19.9	26.4	15.3	3.2	55.1	18.5
小都市	790	33.0	22.3	27.1	15.4	2.2	55.3	17.6
町村	402	34.6	19.4	25.9	17.2	3.0	54.0	20.1
(性別)								
男性	1488	36.3	20.9	25.5	14.2	3.2	57.2	17.3
女性	1669	32.7	20.7	26.5	16.9	3.2	53.4	20.1
(年齢)								
55～59歳	610	45.6	17.5	27.0	8.4	1.5	63.1	9.8
60～64歳	676	38.5	22.3	24.7	13.3	1.2	60.8	14.5
65～69歳	675	40.9	19.4	25.6	12.1	1.9	60.3	14.1
70～74歳	544	26.1	21.7	28.7	19.7	3.9	47.8	23.5
75～79歳	404	23.0	21.8	25.7	23.3	6.2	44.8	29.5
80歳以上	248	14.5	25.0	23.0	27.8	9.7	39.5	37.5
(未婚)								
未婚	95	35.8	14.7	29.5	13.7	6.3	50.5	20.0
既婚(配偶者あり)	2516	36.7	21.0	25.4	14.0	2.9	57.7	16.9
既婚(配偶者と死別)	443	22.8	21.4	28.9	22.8	4.1	44.2	26.9
既婚(配偶者と離別)	103	26.2	18.4	26.2	26.2	2.9	44.7	29.1
【55～59歳】								
総数	610	45.6	17.5	27.0	8.4	1.5	63.1	9.8
(都市規模別)								
大都市	126	41.3	22.2	27.0	8.7	0.8	63.5	9.5
中都市	226	44.7	18.1	27.0	8.8	1.3	62.8	10.2
小都市	166	48.2	15.1	27.7	7.2	1.8	63.3	9.0
町村	92	48.9	14.1	26.1	8.7	2.2	63.0	10.9
(性別)								
男性	271	49.1	15.1	24.7	10.3	0.7	64.2	11.1
女性	339	42.8	19.5	28.9	6.8	2.1	62.2	8.8
(未婚)								
未婚	39	51.3	7.7	25.6	10.3	5.1	59.0	15.4
既婚(配偶者あり)	509	47.0	18.3	26.5	7.1	1.2	65.2	8.3
既婚(配偶者と死別)	27	33.3	18.5	40.7	7.4	-	51.9	7.4
既婚(配偶者と離別)	35	28.6	17.1	25.7	25.7	2.9	45.7	28.6
【60歳以上】								
総数	2547	31.7	21.6	25.8	17.4	3.6	53.3	20.9
(都市規模別)								
大都市	577	32.8	21.5	23.7	17.0	5.0	54.2	22.0
中都市	1036	33.1	20.3	26.3	16.7	3.7	53.4	20.4
小都市	624	29.0	24.2	26.9	17.6	2.2	53.2	19.9
町村	310	30.3	21.0	25.8	19.7	3.2	51.3	22.9
(性別)								
男性	1217	33.4	22.2	25.6	15.0	3.7	55.6	18.7
女性	1330	30.1	21.1	25.9	19.5	3.5	51.1	22.9
(未婚)								
未婚	56	25.0	19.6	32.1	16.1	7.1	44.6	23.2
既婚(配偶者あり)	2007	34.1	21.7	25.1	15.7	3.3	55.8	19.1
既婚(配偶者と死別)	416	22.1	21.6	28.1	23.8	4.3	43.8	28.1
既婚(配偶者と離別)	68	25.0	19.1	26.5	26.5	2.9	44.1	29.4

(2) 日常生活への影響 (Q2)

「健康上の問題で日常生活に何か影響があるか」について尋ねてみると、総数では「ある」が17.5%、「ない」が82.5%となっている。

年齢別にみると、55～59歳では、「ある」が9.2%と低く、「ない」は90.8%と9割を超える。また、年齢が上がるほど、「ある」の割合が増え、80歳以上では、「ある」が36.7%、「ない」は63.3%となっている。

図1-2-1 日常生活への影響 (Q2)



<総数>

都市規模別にみると、「ある」は町村が19.4%で最も高く、以下、中都市が19.2%、大都市が17.5%、小都市が13.7%となっている。

性別にみると、「ある」は女性が18.8%と、男性の16.0%を上回っている。

未婚・既婚別にみると、「ある」の比率は、既婚（配偶者と死別）では25.1%、既婚（配偶者と離別）が25.2%と、未婚（20.0%）、既婚（配偶者あり）（15.7%）よりも高くなっている。

世帯構成別にみると、「ある」は、一人暮らしで23.2%と高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、「ある」は町村が12.0%で最も高く、以下、中都市が9.7%、小都市が8.4%、大都市が7.1%となっている。

性別にみると、「ある」は女性が10.6%と、男性の7.4%を上回っている。

未婚・既婚別にみると、「ある」は、既婚（配偶者と離別）が22.9%と2割を超えて高くなっている。

世帯構成別にみると、「ある」は、一人暮らしで19.0%と高くなっている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「ある」は町村が21.6%で最も高く、以下、中都市が21.2%、大都市が19.8%、小都市が15.1%となっている。

性別にみると、「ある」は女性が20.8%と、男性の17.9%を上回っている。

未婚・既婚別にみると、「ある」は、既婚（配偶者と死別）が26.4%、既婚（配偶者と離別）が26.5%と高くなっている。

世帯構成別にみると、「ある」は、一人暮らしで23.8%と高くなっている。

表1 - 2 - 1 属性別にみた日常生活への影響（Q2）

(単位：%)	総数	ある	ない
**【総数】**	3157	17.5	82.5
(都市規模別)			
大都市	703	17.5	82.5
中都市	1262	19.2	80.8
小都市	790	13.7	86.3
町村	402	19.4	80.6
(性別)			
男性	1488	16.0	84.0
女性	1669	18.8	81.2
(年齢)			
55～59歳	610	9.2	90.8
60～64歳	676	11.7	88.3
65～69歳	675	14.7	85.3
70～74歳	544	22.1	77.9
75～79歳	404	26.2	73.8
80歳以上	248	36.7	63.3
55～59歳(計)	610	9.2	90.8
60～74歳(計)	1895	15.7	84.3
75歳以上	652	30.2	69.8
(未婚)			
未婚	95	20.0	80.0
既婚(配偶者あり)	2516	15.7	84.3
既婚(配偶者と死別)	443	25.1	74.9
既婚(配偶者と離別)	103	25.2	74.8
(世帯構成)			
一人暮らし	302	23.2	76.8
一世代世帯	1240	16.6	83.4
二世代世帯	1008	16.5	83.5
(本人と子)	870	17.0	83.0
(本人と親)	138	13.0	87.0
三世代世帯	534	17.4	82.6
その他の世帯	73	21.9	78.1
【55～59歳】			
総数	610	9.2	90.8
(都市規模別)			
大都市	126	7.1	92.9
中都市	226	9.7	90.3
小都市	166	8.4	91.6
町村	92	12.0	88.0
(性別)			
男性	271	7.4	92.6
女性	339	10.6	89.4
(未婚)			
未婚	39	17.9	82.1
既婚(配偶者あり)	509	7.9	92.1
既婚(配偶者と死別)	27	3.7	96.3
既婚(配偶者と離別)	35	22.9	77.1
(世帯構成)			
総数	610	9.2	90.8
一人暮らし	42	19.0	81.0
一世代世帯	163	7.4	92.6
二世代世帯	285	8.8	91.2
(本人と子)	226	9.7	90.3
(本人と親)	59	5.1	94.9
三世代世帯	99	9.1	90.9
その他の世帯	21	9.5	90.5
【60歳以上】			
総数	2547	19.4	80.6
(都市規模別)			
大都市	577	19.8	80.2
中都市	1036	21.2	78.8
小都市	624	15.1	84.9
町村	310	21.6	78.4
(性別)			
男性	1217	17.9	82.1
女性	1330	20.8	79.2
(未婚)			
未婚	56	21.4	78.6
既婚(配偶者あり)	2007	17.7	82.3
既婚(配偶者と死別)	416	26.4	73.6
既婚(配偶者と離別)	68	26.5	73.5
(世帯構成)			
総数	2547	19.4	80.6
一人暮らし	260	23.8	76.2
一世代世帯	1077	18.0	82.0
二世代世帯	723	19.5	80.5
(本人と子)	644	19.6	80.4
(本人と親)	79	19.0	81.0
三世代世帯	435	19.3	80.7
その他の世帯	52	26.9	73.1

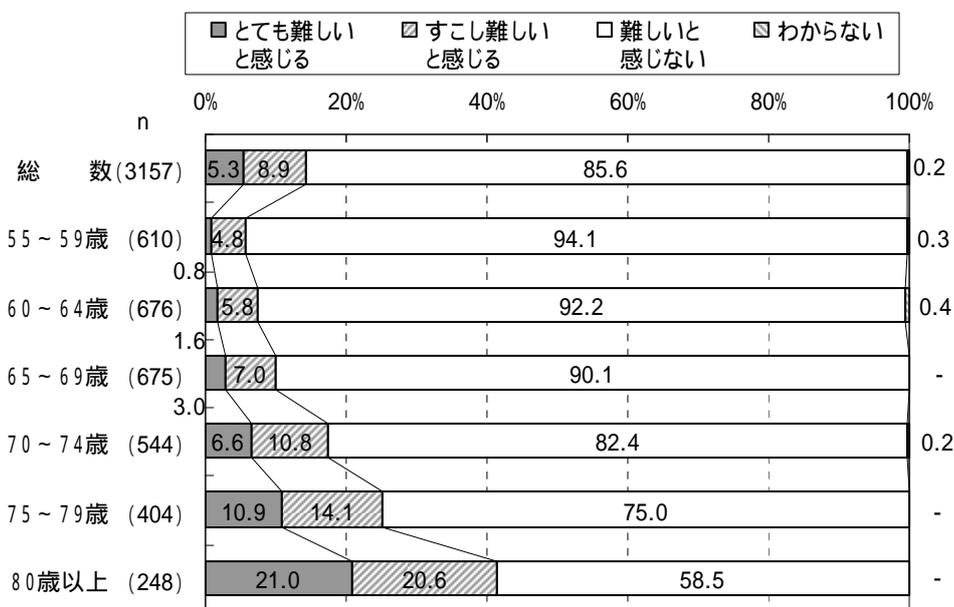
(3) 日常活動の状況 (Q3)

(1) 適度な活動の困難度

「適度な活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど」ことについて尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」は5.3%、「すこし難しいと感じる」は8.9%で、「難しいと感じない」が85.6%を占める。

年齢別にみると、55～59歳では「難しいと感じない」が94.1%と高く、「とても難しいと感じる」は0.8%、「すこし難しいと感じる」は4.8%である。一方、80歳以上では、「難しいと感じない」は58.5%、「とても難しいと感じる」は21.0%、「すこし難しいと感じる」は20.6%となっている。年齢が上がるほど、「とても難しいと感じる」、「すこし難しいと感じる」は増加傾向を示し、「難しいと感じない」は減少傾向を示している。

図1-3-1 適度な活動の困難度 (Q3(1))



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」の比率を合計した「難しいと感じる」(計)は、中都市が15.5%で最も高く、小都市は12.5%で最も低い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が16.6%で、男性の11.6%よりも高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が7.8%で最も高い。

性別では大きな差はみられない。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、町村が18.1%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が19.5%で、男性の12.8%よりも高くなっている。

表1-3-1 属性別にみた適度な活動の困難度

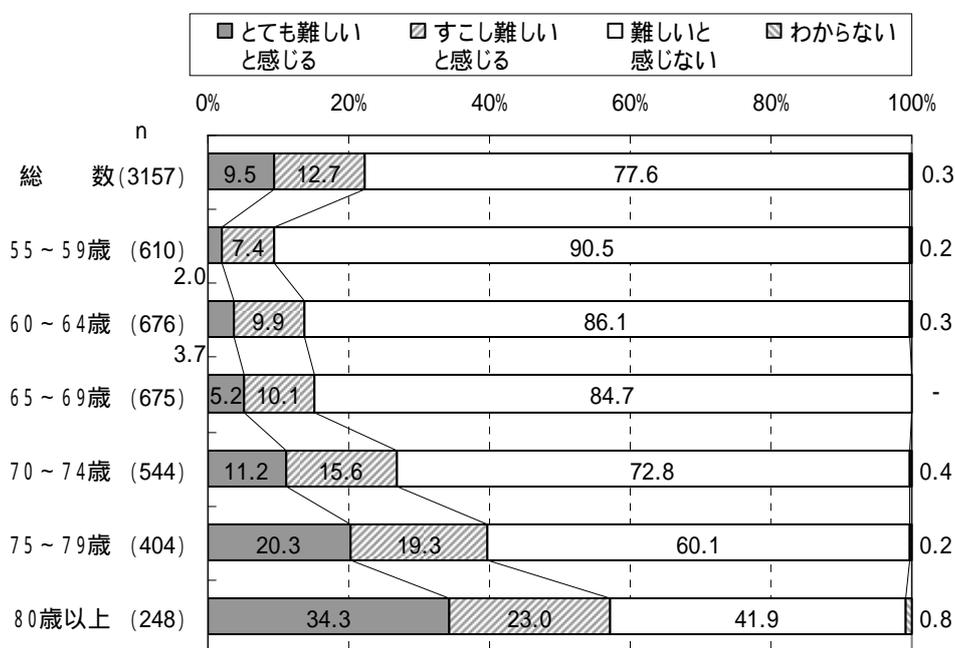
	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
(単位:%)						
**【総数】**	3157	5.3	8.9	85.6	0.2	14.3
(都市規模別)						
大都市	703	5.4	8.1	85.9	0.6	13.5
中都市	1262	6.4	9.1	84.3	0.2	15.5
小都市	790	2.9	9.6	87.5	-	12.5
町村	402	6.5	8.5	85.1	-	14.9
(性別)						
男性	1488	4.0	7.7	88.1	0.3	11.6
女性	1669	6.5	10.1	83.3	0.1	16.6
(年齢)						
55～59歳	610	0.8	4.8	94.1	0.3	5.6
60～64歳	676	1.6	5.8	92.2	0.4	7.4
65～69歳	675	3.0	7.0	90.1	-	9.9
70～74歳	544	6.6	10.8	82.4	0.2	17.5
75～79歳	404	10.9	14.1	75.0	-	25.0
80歳以上	248	21.0	20.6	58.5	-	41.5
55～59歳(計)	610	0.8	4.8	94.1	0.3	5.6
60～74歳(計)	1895	3.5	7.7	88.6	0.2	11.2
75歳以上	652	14.7	16.6	68.7	-	31.3
【55～59歳】						
総数	610	0.8	4.8	94.1	0.3	5.6
(都市規模別)						
大都市	126	-	4.8	94.4	0.8	4.8
中都市	226	-	4.9	94.7	0.4	4.9
小都市	166	2.4	5.4	92.2	-	7.8
町村	92	1.1	3.3	95.7	-	4.3
(性別)						
男性	271	1.1	5.2	93.0	0.7	6.3
女性	339	0.6	4.4	95.0	-	5.0
【60歳以上】						
総数	2547	6.4	9.9	83.5	0.2	16.3
(都市規模別)						
大都市	577	6.6	8.8	84.1	0.5	15.4
中都市	1036	7.8	10.0	82.0	0.1	17.9
小都市	624	3.0	10.7	86.2	-	13.8
町村	310	8.1	10.0	81.9	-	18.1
(性別)						
男性	1217	4.6	8.2	87.0	0.2	12.8
女性	1330	8.0	11.5	80.3	0.2	19.5

(2) 重いものの持ち上げや運搬の困難度

「少し重い物を持ち上げたり，運んだりする」ことについて尋ねてみると，総数では「とても難しいと感じる」は9.5%，「すこし難しいと感じる」は12.7%，「難しいと感じない」が77.6%を占める。

年齢別にみると，55～59歳では「難しいと感じない」が90.5%と高く，「とても難しいと感じる」は2.0%，「すこし難しいと感じる」は7.4%である。一方，80歳以上では，「難しいと感じない」は41.9%，「とても難しいと感じる」は34.3%，「すこし難しいと感じる」は23.0%となっている。年齢が上がるほど，「とても難しいと感じる」，「すこし難しいと感じる」は増加傾向を示し，「難しいと感じない」は減少傾向を示している。

図1 - 3 - 2 重いものの持ち上げや運搬の困難度（Q3（2））



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」の比率を合計した「難しいと感じる」(計)は、中都市が23.7%で最も高く、大都市は20.6%で最も低い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が27.3%で、男性の16.4%よりも高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が13.3%で最も高い。

性別では、大きな差はみられない。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、中都市が27.2%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が31.7%で、男性の18.2%よりも高くなっている。

表1-3-2 属性別にみた重いものの持ち上げや運搬の困難度(Q3(2))

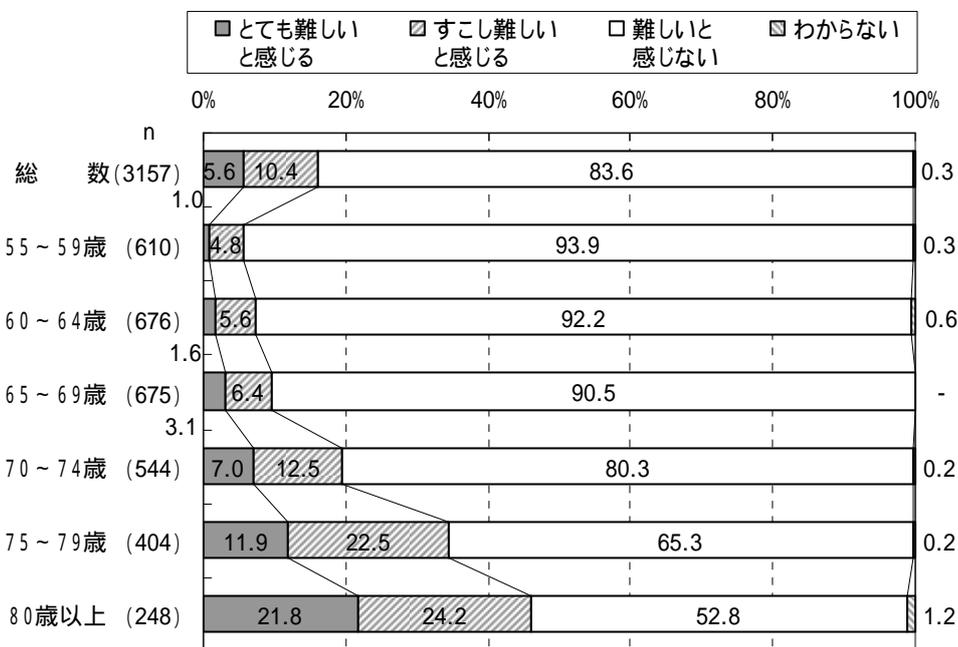
(単位：%)	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
**【総数】**	3157	9.5	12.7	77.6	0.3	22.2
(都市規模別)						
大都市	703	9.1	11.5	79.2	0.1	20.6
中都市	1262	10.4	13.3	76.1	0.2	23.7
小都市	790	8.0	13.8	77.8	0.4	21.8
町村	402	10.4	10.4	78.6	0.5	20.9
(性別)						
男性	1488	6.5	9.9	83.3	0.3	16.4
女性	1669	12.2	15.2	72.5	0.2	27.3
(年齢)						
55～59歳	610	2.0	7.4	90.5	0.2	9.3
60～64歳	676	3.7	9.9	86.1	0.3	13.6
65～69歳	675	5.2	10.1	84.7	-	15.3
70～74歳	544	11.2	15.6	72.8	0.4	26.8
75～79歳	404	20.3	19.3	60.1	0.2	39.6
80歳以上	248	34.3	23.0	41.9	0.8	57.3
55～59歳(計)	610	2.0	7.4	90.5	0.2	9.3
60～74歳(計)	1895	6.4	11.6	81.8	0.2	18.0
75歳以上	652	25.6	20.7	53.2	0.5	46.3
【55～59歳】						
総数	610	2.0	7.4	90.5	0.2	9.3
(都市規模別)						
大都市	126	1.6	7.9	90.5	-	9.5
中都市	226	0.4	7.1	92.0	0.4	7.5
小都市	166	4.8	8.4	86.7	-	13.3
町村	92	1.1	5.4	93.5	-	6.5
(性別)						
男性	271	2.2	6.3	91.1	0.4	8.5
女性	339	1.8	8.3	90.0	-	10.0
【60歳以上】						
総数	2547	11.3	13.9	74.5	0.3	25.2
(都市規模別)						
大都市	577	10.7	12.3	76.8	0.2	23.1
中都市	1036	12.5	14.7	72.7	0.1	27.2
小都市	624	8.8	15.2	75.5	0.5	24.0
町村	310	13.2	11.9	74.2	0.6	25.2
(性別)						
男性	1217	7.5	10.7	81.5	0.3	18.2
女性	1330	14.8	16.9	68.0	0.2	31.7

(3) 階段を1階上までのぼることの困難度

「階段を1階上までのぼる」ことについて尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」は5.6%、「すこし難しいと感じる」は10.4%で、「難しいと感じない」が83.6%を占める。

年齢別にみると、55～59歳では「難しいと感じない」が93.9%と高く、「とても難しいと感じる」は1.0%、「すこし難しいと感じる」は4.8%である。一方、80歳以上では、「難しいと感じない」は52.8%、「とても難しいと感じる」は21.8%、「すこし難しいと感じる」は24.2%となっている。年齢が上がるほど、「とても難しいと感じる」、「すこし難しいと感じる」は増加傾向を示し、「難しいと感じない」は減少傾向を示している。

図1-3-3 階段を1階上までのぼることの困難度(Q3(3))



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」の比率を合計した「難しいと感じる」(計)は、町村が17.2%で最も高く、小都市は15.1%で最も低い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が20.0%で、男性の11.6%よりも高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が8.4%で最も高い。

性別では、大きな差はみられない。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、町村が21.3%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が23.7%で、男性の12.9%よりも高くなっている。

表1-3-3 属性別にみた階段を1階上までのぼることの困難度(Q3(3))

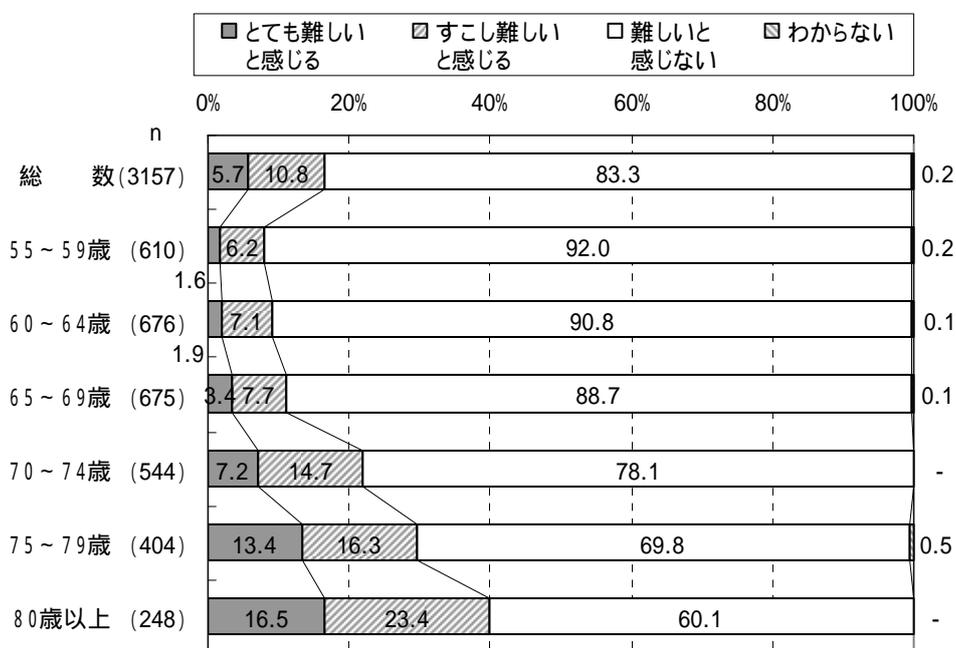
(単位：%)	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
**【総数】**	3157	5.6	10.4	83.6	0.3	16.1
(都市規模別)						
大都市	703	4.4	10.8	84.5	0.3	15.2
中都市	1262	6.3	10.5	82.6	0.6	16.8
小都市	790	4.6	10.5	84.7	0.3	15.1
町村	402	7.7	9.5	82.8	-	17.2
(性別)						
男性	1488	3.7	7.9	88.0	0.3	11.6
女性	1669	7.4	12.6	79.6	0.4	20.0
(年齢)						
55～59歳	610	1.0	4.8	93.9	0.3	5.7
60～64歳	676	1.6	5.6	92.2	0.6	7.2
65～69歳	675	3.1	6.4	90.5	-	9.5
70～74歳	544	7.0	12.5	80.3	0.2	19.5
75～79歳	404	11.9	22.5	65.3	0.2	34.4
80歳以上	248	21.8	24.2	52.8	1.2	46.0
55～59歳(計)	610	1.0	4.8	93.9	0.3	5.7
60～74歳(計)	1895	3.7	7.9	88.2	0.3	11.6
75歳以上	652	15.6	23.2	60.6	0.6	38.8
【55～59歳】						
総数	610	1.0	4.8	93.9	0.3	5.7
(都市規模別)						
大都市	126	-	6.3	93.7	-	6.3
中都市	226	0.4	4.0	94.7	0.9	4.4
小都市	166	2.4	6.0	91.6	-	8.4
町村	92	1.1	2.2	96.7	-	3.3
(性別)						
男性	271	1.1	4.8	93.4	0.7	5.9
女性	339	0.9	4.7	94.4	-	5.6
【60歳以上】						
総数	2547	6.8	11.8	81.1	0.4	18.5
(都市規模別)						
大都市	577	5.4	11.8	82.5	0.3	17.2
中都市	1036	7.6	11.9	80.0	0.5	19.5
小都市	624	5.1	11.7	82.9	0.3	16.8
町村	310	9.7	11.6	78.7	-	21.3
(性別)						
男性	1217	4.3	8.6	86.9	0.2	12.9
女性	1330	9.0	14.7	75.9	0.5	23.7

(4) 体を前に曲げる，ひざまずく，かがむことの困難度

「体を前に曲げる，ひざまずく，かがむ」ことについて尋ねてみると，総数では「とても難しいと感じる」は5.7%，「すこし難しいと感じる」は10.8%で，「難しいと感じない」が83.3%を占める。

年齢別にみると，55～59歳では「難しいと感じない」が92.0%と高く，「とても難しいと感じる」は1.6%，「すこし難しいと感じる」は6.2%である。一方，80歳以上では，「難しいと感じない」は60.1%，「とても難しいと感じる」は16.5%，「すこし難しいと感じる」は23.4%となっている。年齢が上がるほど，「とても難しいと感じる」，「すこし難しいと感じる」は増加傾向を示し，「難しいと感じない」は減少傾向を示している。

図1-3-4 体を前に曲げる，ひざまずく，かがむことの困難度（Q3（4））



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」の比率を合計した「難しいと感じる」(計)は、おおむね15~17%で、目だつた差はみられない。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が20.4%で、男性の12.2%よりも高くなっている。

<55~59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が9.6%で最も高い。

性別では、大きな差はみられない。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、中都市が20.0%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が23.6%で、男性の13.1%よりも高くなっている。

表1-4-1 属性別にみた体を前に曲げる、ひざまずく、かがむことの困難度(Q3(4))

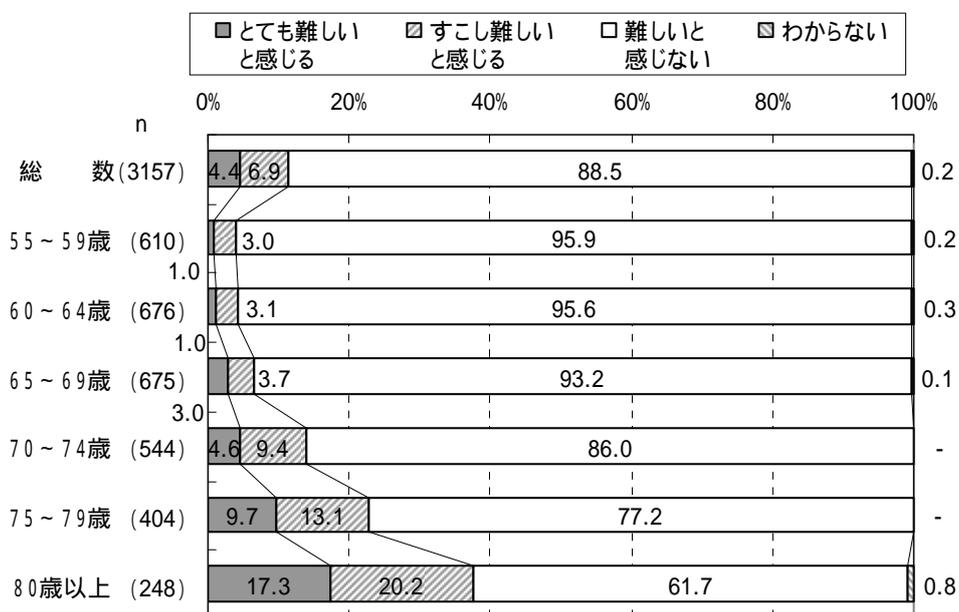
(単位：%)	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
**【総数】**	3157	5.7	10.8	83.3	0.2	16.5
(都市規模別)						
大都市	703	5.7	9.5	84.5	0.3	15.2
中都市	1262	6.3	11.3	82.2	0.2	17.6
小都市	790	4.8	11.3	83.9	-	16.1
町村	402	5.7	10.7	83.6	-	16.4
(性別)						
男性	1488	4.0	8.2	87.6	0.2	12.2
女性	1669	7.2	13.2	79.5	0.1	20.4
(年齢)						
55~59歳	610	1.6	6.2	92.0	0.2	7.9
60~64歳	676	1.9	7.1	90.8	0.1	9.0
65~69歳	675	3.4	7.7	88.7	0.1	11.1
70~74歳	544	7.2	14.7	78.1	-	21.9
75~79歳	404	13.4	16.3	69.8	0.5	29.7
80歳以上	248	16.5	23.4	60.1	-	39.9
55~59歳(計)	610	1.6	6.2	92.0	0.2	7.9
60~74歳(計)	1895	4.0	9.5	86.4	0.1	13.5
75歳以上	652	14.6	19.0	66.1	0.3	33.6
【55~59歳】						
総数	610	1.6	6.2	92.0	0.2	7.9
(都市規模別)						
大都市	126	1.6	7.1	91.3	-	8.7
中都市	226	0.9	5.8	92.9	0.4	6.6
小都市	166	3.0	6.6	90.4	-	9.6
町村	92	1.1	5.4	93.5	-	6.5
(性別)						
男性	271	1.8	6.3	91.5	0.4	8.1
女性	339	1.5	6.2	92.3	-	7.7
【60歳以上】						
総数	2547	6.7	11.9	81.2	0.2	18.6
(都市規模別)						
大都市	577	6.6	10.1	83.0	0.3	16.6
中都市	1036	7.4	12.5	79.8	0.2	20.0
小都市	624	5.3	12.5	82.2	-	17.8
町村	310	7.1	12.3	80.6	-	19.4
(性別)						
男性	1217	4.5	8.6	86.7	0.2	13.1
女性	1330	8.6	15.0	76.2	0.2	23.6

(5) 数百メートル歩行の困難度

「数百メートルくらい歩く」ことについて尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」は4.4%、「すこし難しいと感じる」は6.9%で、「難しいと感じない」が88.5%を占める。

55～59歳では「難しいと感じない」が95.9%と高く、「とても難しいと感じる」は1.0%、「すこし難しいと感じる」は3.0%である。一方、80歳以上では、「難しいと感じない」は61.7%、「とても難しいと感じる」は17.3%、「すこし難しいと感じる」は20.2%となっている。年齢が上がるほど、「とても難しいと感じる」、「すこし難しいと感じる」は増加傾向を示し、「難しいと感じない」は減少傾向を示している。

図1 - 3 - 5 数百メートル歩行の困難度 ( Q 3 ( 5 ) )



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」を合計した「難しいと感じる」(計)は、おおむね11~12%で、目だつた差はみられない。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が14.0%で、男性の8.3%よりも高くなっている。

<55~59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が5.4%で最も高い。

性別では、「難しいと感じる」(計)は、男性が4.8%と、女性の3.2%をやや上回る。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、町村が14.2%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が16.8%で、男性の9.1%よりも高くなっている。

表1-3-5 属性別にみた数百メートル歩行の困難度(Q3(5))

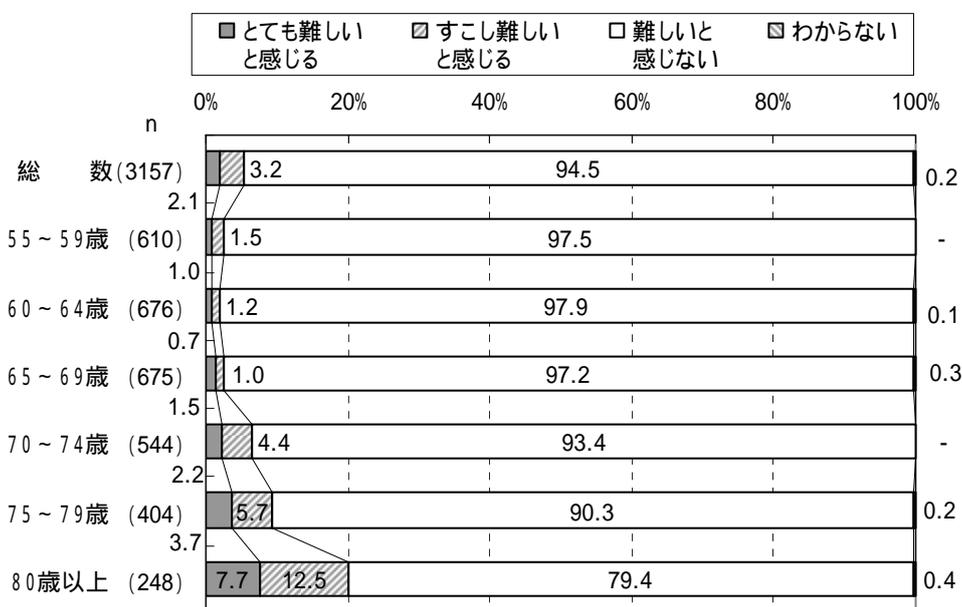
(単位：%)	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
**【総数】**	3157	4.4	6.9	88.5	0.2	11.3
(都市規模別)						
大都市	703	4.3	6.5	89.0	0.1	10.8
中都市	1262	4.7	7.3	87.7	0.3	12.0
小都市	790	3.3	7.3	89.2	0.1	10.6
町村	402	6.2	5.5	88.3	-	11.7
(性別)						
男性	1488	2.9	5.4	91.4	0.3	8.3
女性	1669	5.8	8.2	85.9	0.1	14.0
(年齢)						
55~59歳	610	1.0	3.0	95.9	0.2	3.9
60~64歳	676	1.0	3.1	95.6	0.3	4.1
65~69歳	675	3.0	3.7	93.2	0.1	6.7
70~74歳	544	4.6	9.4	86.0	-	14.0
75~79歳	404	9.7	13.1	77.2	-	22.8
80歳以上	248	17.3	20.2	61.7	0.8	37.5
55~59歳(計)	610	1.0	3.0	95.9	0.2	3.9
60~74歳(計)	1895	2.7	5.1	92.0	0.2	7.9
75歳以上	652	12.6	15.8	71.3	0.3	28.4
【55~59歳】						
総数	610	1.0	3.0	95.9	0.2	3.9
(都市規模別)						
大都市	126	-	4.8	95.2	-	4.8
中都市	226	-	2.7	96.9	0.4	2.7
小都市	166	3.0	2.4	94.6	-	5.4
町村	92	1.1	2.2	96.7	-	3.3
(性別)						
男性	271	0.7	4.1	94.8	0.4	4.8
女性	339	1.2	2.1	96.8	-	3.2
【60歳以上】						
総数	2547	5.3	7.9	86.7	0.2	13.1
(都市規模別)						
大都市	577	5.2	6.9	87.7	0.2	12.1
中都市	1036	5.7	8.3	85.7	0.3	14.0
小都市	624	3.4	8.7	87.8	0.2	12.0
町村	310	7.7	6.5	85.8	-	14.2
(性別)						
男性	1217	3.4	5.8	90.6	0.2	9.1
女性	1330	7.0	9.8	83.1	0.2	16.8

(6) 入浴や着替えの困難度

「自分でお風呂に入ったり，着がえたりする」ことについて尋ねてみると，総数では「とても難しい」は2.1%，「すこし難しいと感じる」は3.2%で，「難しいと感じない」が94.5%を占める。

年齢別にみると，55～59歳では「難しいと感じない」が97.5%と高く，「とても難しい」は1.0%，「すこし難しいと感じる」は1.5%であり，65～69歳まではほぼ同様の傾向となっている。また，70～74歳では「とても難しいと感じる」が2.2%，「すこし難しいと感じる」が4.4%と困難を感じる者の割合が増加し，80歳以上では「とても難しいと感じる」が7.7%，「すこし難しいと感じる」が12.5%となっている。

図1 - 3 - 6 入浴や着替えの困難度 ( Q 3 ( 6 ) )



<総数>

都市規模別にみると、「とても難しいと感じる」「すこし難しいと感じる」を合計した「難しいと感じる」(計)は、町村が7.7%で最も高く、小都市が3.9%で最も低い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が6.5%で、男性の4.1%よりもやや高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、小都市が4.8%で最も高い。

性別では、「難しいと感じる」(計)は、男性が3.3%と、女性の1.8%をやや上回る。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「難しいと感じる」(計)は、町村が9.7%で最も高い。

性別でみると、「難しいと感じる」(計)は、女性が7.7%で、男性の4.3%よりも高くなっている。

表1-3-6 属性別にみた入浴や着替えの困難度(Q3(6))

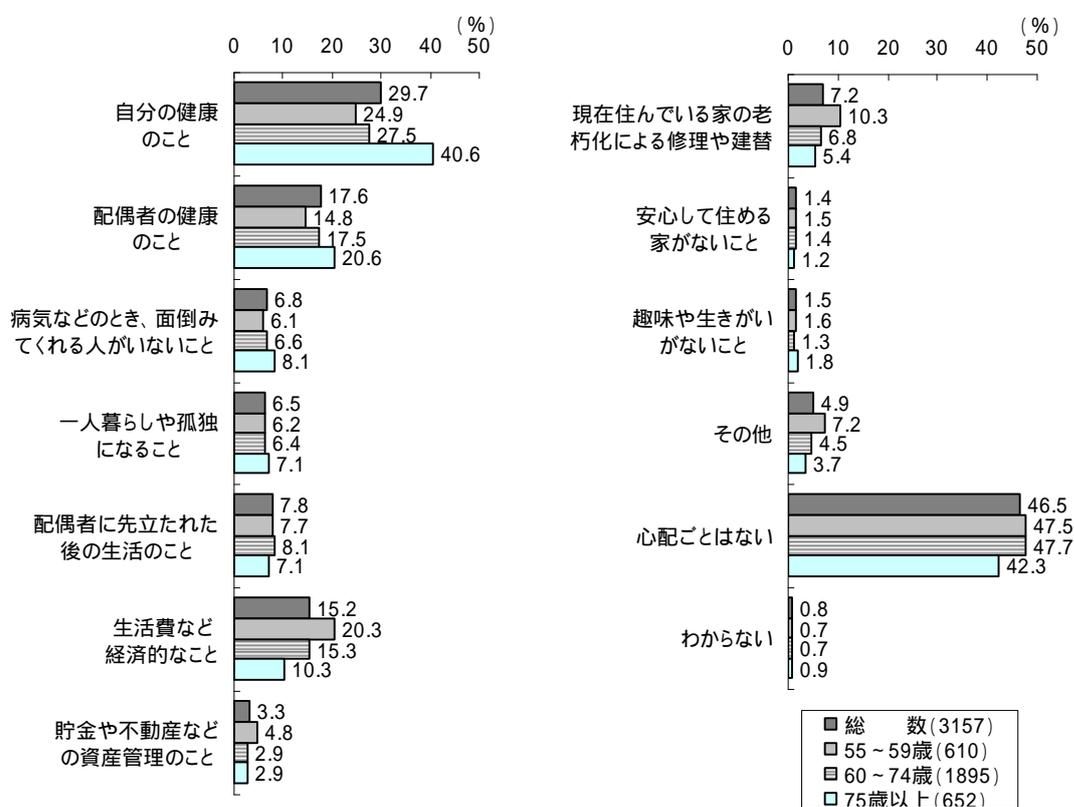
(単位：%)	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
**【総数】**	3157	2.1	3.2	94.5	0.2	5.4
(都市規模別)						
大都市	703	1.8	2.8	95.0	0.3	4.7
中都市	1262	2.2	3.6	94.0	0.2	5.9
小都市	790	1.1	2.8	95.9	0.1	3.9
町村	402	4.2	3.5	92.3	-	7.7
(性別)						
男性	1488	1.4	2.7	95.8	0.1	4.1
女性	1669	2.8	3.7	93.3	0.2	6.5
(年齢)						
55～59歳	610	1.0	1.5	97.5	-	2.5
60～64歳	676	0.7	1.2	97.9	0.1	1.9
65～69歳	675	1.5	1.0	97.2	0.3	2.5
70～74歳	544	2.2	4.4	93.4	-	6.6
75～79歳	404	3.7	5.7	90.3	0.2	9.4
80歳以上	248	7.7	12.5	79.4	0.4	20.2
55～59歳(計)	610	1.0	1.5	97.5	-	2.5
60～74歳(計)	1895	1.4	2.1	96.4	0.2	3.5
75歳以上	652	5.2	8.3	86.2	0.3	13.5
【55～59歳】						
総数	610	1.0	1.5	97.5	-	2.5
(都市規模別)						
大都市	126	-	1.6	98.4	-	1.6
中都市	226	-	1.8	98.2	-	1.8
小都市	166	3.0	1.8	95.2	-	4.8
町村	92	1.1	-	98.9	-	1.1
(性別)						
男性	271	0.7	2.6	96.7	-	3.3
女性	339	1.2	0.6	98.2	-	1.8
【60歳以上】						
総数	2547	2.4	3.7	93.8	0.2	6.0
(都市規模別)						
大都市	577	2.3	3.1	94.3	0.3	5.4
中都市	1036	2.7	4.1	93.1	0.2	6.8
小都市	624	0.6	3.0	96.2	0.2	3.7
町村	310	5.2	4.5	90.3	-	9.7
(性別)						
男性	1217	1.6	2.7	95.6	0.1	4.3
女性	1330	3.2	4.5	92.0	0.3	7.7

(4) 心配ごとや悩みごと (Q4)

「心配ごとや悩みごとがあるか」について尋ねてみると、総数では「心配ごとはない」が46.5%で最も高く、以下、「自分の健康のこと」が29.7%、「配偶者の健康のこと」が17.6%、「生活費など経済的なこと」が15.2%と続いている。

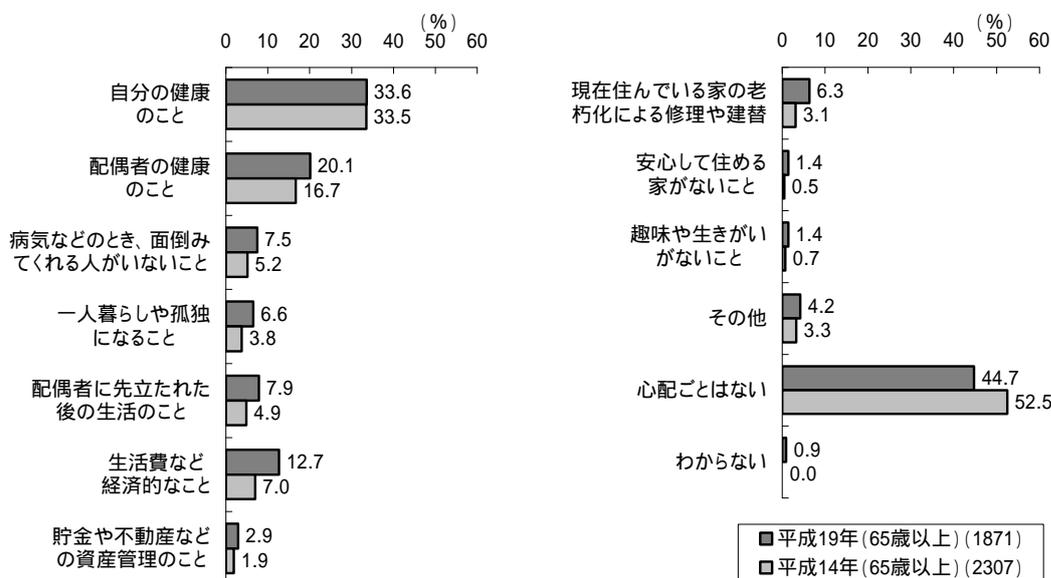
年齢別にみると、55～59歳では、「心配ごとはない」が47.5%で最も高く、以下、「自分の健康のこと」が24.9%、「生活費など経済的なこと」が20.3%で、「配偶者の健康のこと」の14.8%を上回っている。60～74歳では、「心配ごとはない」は47.7%と50歳代とほぼ同水準であるが、「自分の健康のこと」が27.5%、「配偶者の健康のこと」が17.5%と、55～59歳と比べて高くなっている。逆に、「生活費など経済的なこと」は15.3%と低くなっている。75歳以上では、「心配ごとはない」は42.3%と60～74歳と比べて低く、「自分の健康のこと」が40.6%、「配偶者の健康のこと」が20.6%と、60～74歳と比べて高く、「生活費など経済的なこと」は10.3%と低くなっている。

図1-4-1 心配ごとや悩みごと (Q4 M.A.)



65 歳以上について、平成 14 年調査と比較してみると、「心配ごとはない」は、平成 14 年調査の 52.5%から今回調査では 44.7%に低下している。一方、「配偶者の健康のこと」は 16.7%から 20.1%に、「生活費など経済的なこと」は 7.0%から 12.7%に上昇している。

図 1 - 4 - 2 時系列にみた心配事や悩みごと (Q4 M.A.)



< 総数 >

都市規模別にみると、「生活費など経済的なこと」は大都市が 17.5%と最も高い。「心配事はない」は町村が 49.8%と最も高い。

性別にみると、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」は、男性の 5.2%よりも女性が 8.3%と高くなっている。

年齢別にみると、「自分の健康のこと」は年齢が上がるほど高く、「生活費など経済的なこと」は年齢が上がるほど低くなっている。

世帯構成別にみると、「心配事はない」は、三世帯世帯が 53.7%で最も高い。一方、「自分の健康のこと」「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」「一人暮らしや孤独になること」は、一人暮らしが、順に 40.7%、18.9%、16.2%で最も高くなっている。

子どもの有無別にみると、「心配事はない」は、「いる」が 47.3%と「いない」の 37.7%を上回っている。逆に、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」(いる 6.0%、いない 17.2%)、「一人暮らしや孤独になること」(いる 5.8%、いない 14.3%)、「生活費など経済的なこと」(いる 14.6%、いない 23.0%) などについては、「いない」が「いる」を大きく上回っている。

< 55 ~ 59 歳 >

都市規模別にみると、「生活費など経済的なこと」は、小都市が 23.5%と最も高い。

性別にみると、「自分の健康のこと」は、女性の 23.9%を男性の 26.2%が上回っている。「心配事はない」は、男性の 45.0%を女性の 49.6%が上回っている。

世帯構成別にみると、「心配事はない」は、三世帯世帯が 52.5%で最も高い。他の世帯と比較し

て、一人暮らしは「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」(23.8%)、「一人暮らしや孤独になること」(14.3%)、「生活費など経済的なこと」(28.6%)において最も高くなっている。

子どもの有無別にみると、「心配事はない」は、「いる」が48.6%と「いない」の38.8%を上回っている。逆に、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」(いる4.8%、いない16.4%)、「一人暮らしや孤独になること」(いる5.0%、いない16.4%)、「生活費など経済的なこと」(いる19.3%、いない28.4%)などについては、「いない」が「いる」を大きく上回っている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、「心配事はない」は、町村が50.3%と最も高い。「生活費など経済的なこと」は、大都市が17.0%と最も高い。

性別にみると、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」は、男性の4.9%よりも女性が8.9%と高くなっている。

世帯構成別にみると、「心配事はない」は、三世帯世帯が54.0%で最も高い。他の世帯と比較して、一人暮らしは「自分の健康のこと」(43.1%)、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」(18.1%)、「一人暮らしや孤独になること」(16.5%)において最も高くなっている。「配偶者の健康のこと」は、一世代世帯が25.9%で最も高い。

子どもの有無別にみると、「心配事はない」については、「いる」が47.0%と「いない」の37.3%を上回っている。「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」(いる6.2%、いない17.5%)、「生活費など経済的なこと」(いる13.5%、いない20.9%)などについては、「いない」が「いる」を大きく上回っている。

表1 - 4 - 1 属性別にみた心配ごとや悩みごと(1)(Q4 M.A.)

(単位：%)	総数	自分の健康のこと	配偶者の健康のこと	病気などのとき、面倒みてくれる人がいないこと	一人暮らしや孤独になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	貯金や不動産などの資産管理のこと	現在住んでいる家の老朽化による修理や建替
**【総数】*	3157	29.7	17.6	6.8	6.5	7.8	15.2	3.3	7.2
(都市規模別)									
大都市	703	30.9	19.3	9.0	7.7	9.5	17.5	4.0	7.1
中都市	1262	30.5	17.5	6.9	6.7	7.9	15.3	3.6	7.4
小都市	790	27.5	17.8	5.9	5.6	7.2	14.4	2.9	6.8
町村	402	29.9	14.2	4.7	5.5	5.7	12.4	1.7	7.2
(性別)									
男性	1488	28.8	17.9	5.2	6.3	8.7	15.6	3.5	6.8
女性	1669	30.6	17.3	8.3	6.7	7.1	14.9	3.1	7.5
(年齢)									
55～59歳	610	24.9	14.8	6.1	6.2	7.7	20.3	4.8	10.3
60～64歳	676	23.4	13.0	5.8	6.5	7.8	17.6	3.0	6.7
65～69歳	675	28.3	18.2	6.4	5.9	8.3	14.1	3.0	6.4
70～74歳	544	31.8	22.1	8.1	6.8	8.3	13.8	2.8	7.4
75～79歳	404	37.6	18.6	8.4	7.4	6.9	11.6	2.7	5.7
80歳以上	248	45.6	23.8	7.7	6.5	7.3	8.1	3.2	4.8
(世帯構成)									
一人暮らし	302	40.7	2.0	18.9	16.2	-	19.5	4.3	7.9
一世帯世帯	1240	29.0	25.3	6.7	7.7	11.8	13.5	2.8	6.7
二世帯世帯	1008	29.0	14.8	5.5	5.3	8.2	17.7	4.4	8.4
(本人と子)	870	28.2	14.8	5.4	5.1	7.6	17.4	4.6	7.9
(本人と親)	138	34.1	14.5	5.8	6.5	12.3	19.6	2.9	11.6
三世帯世帯	534	27.2	14.6	3.2	0.7	3.0	10.7	1.7	4.3
その他の世帯	73	27.4	11.0	5.5	5.5	2.7	26.0	2.7	15.1
(子どもの有無)									
いる	2913	29.3	17.8	6.0	5.8	7.5	14.6	3.1	7.0
いない	244	34.8	15.2	17.2	14.3	11.5	23.0	5.3	9.0

(単位：%)	安心して住める家がないこと	趣味や生きがいがないこと	その他	心配ごとはない	わからない	心配ごとがある(計)
**【総数】*	1.4	1.5	4.9	46.5	0.8	52.7
(都市規模別)						
大都市	2.1	1.6	4.4	44.1	1.0	54.9
中都市	1.4	1.1	4.7	45.7	0.8	53.5
小都市	0.8	2.0	4.8	48.4	0.3	51.4
町村	1.2	1.2	6.5	49.8	1.2	49.0
(性別)						
男性	1.2	1.3	4.2	46.5	1.0	52.5
女性	1.6	1.6	5.5	46.6	0.5	52.9
(年齢)						
55～59歳	1.5	1.6	7.2	47.5	0.7	51.8
60～64歳	1.3	1.5	4.6	50.6	0.4	49.0
65～69歳	1.6	0.7	5.0	48.3	1.3	50.4
70～74歳	1.3	1.7	3.9	43.2	0.4	56.4
75～79歳	1.0	1.5	3.2	43.3	0.7	55.9
80歳以上	1.6	2.4	4.4	40.7	1.2	58.1
(世帯構成)						
一人暮らし	2.0	1.3	3.6	36.1	1.0	62.9
一世帯世帯	1.0	1.5	4.0	47.3	0.6	52.0
二世帯世帯	2.2	1.8	6.6	45.3	0.9	53.8
(本人と子)	2.5	1.8	5.7	46.6	0.9	52.5
(本人と親)	-	1.4	12.3	37.7	0.7	61.6
三世帯世帯	0.2	0.9	4.5	53.7	0.7	45.5
その他の世帯	2.7	-	4.1	39.7	-	60.3
(子どもの有無)						
いる	1.2	1.5	4.9	47.3	0.8	51.9
いない	3.7	0.8	4.1	37.7	-	62.3

表1 - 4 - 2 属性別にみた心配ごとや悩みごと(2)(Q4 M.A.)

(単位：%)	総数	自分の健康のこと	配偶者の健康のこと	病気などのとき、面倒みてくれる人がいないこと	一人暮らしや孤独になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	貯金や不動産などの資産管理のこと	現在住んでいる家の老朽化による修理や建替
【55～59歳】									
総数	610	24.9	14.8	6.1	6.2	7.7	20.3	4.8	10.3
(都市規模別)									
大都市	126	23.8	14.3	7.1	7.1	11.1	19.8	6.3	8.7
中都市	226	25.2	16.8	6.6	5.8	6.2	18.6	5.8	11.1
小都市	166	24.1	14.5	6.6	7.8	8.4	23.5	4.8	10.8
町村	92	27.2	10.9	2.2	3.3	5.4	19.6	-	9.8
(性別)									
男性	271	26.2	14.0	6.3	7.0	8.1	21.0	5.9	8.1
女性	339	23.9	15.3	5.9	5.6	7.4	19.8	3.8	12.1
(世帯構成)									
一人暮らし	42	26.2	2.4	23.8	14.3	-	28.6	4.8	7.1
一世帯世帯	163	25.2	21.5	4.3	6.7	9.2	17.2	3.7	9.8
二世帯世帯	285	26.3	14.4	5.3	6.3	8.8	18.6	6.7	11.2
（本人と子）	226	25.7	15.0	5.8	6.2	8.4	17.7	7.5	10.6
（本人と親）	59	28.8	11.9	3.4	6.8	10.2	22.0	3.4	13.6
三世帯世帯	99	21.2	12.1	3.0	1.0	7.1	21.2	1.0	9.1
その他の世帯	21	19.0	4.8	9.5	9.5	-	47.6	4.8	14.3
(子どもの有無)									
いる	543	24.7	15.3	4.8	5.0	7.4	19.3	4.6	10.3
いない	67	26.9	10.4	16.4	16.4	10.4	28.4	6.0	10.4

(単位：%)	安心して住める家がないこと	趣味や生きがいがないこと	その他	心配ごとはない	わからない	心配ごとがある(計)
【55～59歳】						
総数	1.5	1.6	7.2	47.5	0.7	51.8
(都市規模別)						
大都市	3.2	2.4	5.6	45.2	1.6	53.2
中都市	1.3	0.9	5.8	49.1	-	50.9
小都市	0.6	3.0	8.4	47.0	-	53.0
町村	1.1	-	10.9	47.8	2.2	50.0
(性別)						
男性	1.8	1.1	5.9	45.0	1.5	53.5
女性	1.2	2.1	8.3	49.6	-	50.4
(世帯構成)						
一人暮らし	-	-	4.8	35.7	-	64.3
一世帯世帯	1.2	1.2	8.6	47.9	0.6	51.5
二世帯世帯	2.5	2.1	7.0	47.4	1.1	51.6
（本人と子）	3.1	1.8	5.8	49.1	1.3	49.6
（本人と親）	-	3.4	11.9	40.7	-	59.3
三世帯世帯	-	2.0	7.1	52.5	-	47.5
その他の世帯	-	-	4.8	47.6	-	52.4
(子どもの有無)						
いる	1.5	1.8	7.6	48.6	0.7	50.6
いない	1.5	-	4.5	38.8	-	61.2

表1 - 4 - 3 属性別にみた心配ごとや悩みごと(3)(Q4 M.A.)

(単位：%)	総数	自分の健康のこと	配偶者の健康のこと	病気などのとき、面倒みってくれる人がいないこと	一人暮らしや孤独になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	貯金や不動産などの資産管理のこと	現在住んでいる家の老朽化による修理や建替
【60歳以上】									
総数	2547	30.9	18.3	7.0	6.6	7.9	14.0	2.9	6.4
(都市規模別)									
大都市	577	32.4	20.5	9.4	7.8	9.2	17.0	3.5	6.8
中都市	1036	31.7	17.7	6.9	6.9	8.3	14.6	3.1	6.6
小都市	624	28.4	18.8	5.8	5.0	6.9	12.0	2.4	5.8
町村	310	30.6	15.2	5.5	6.1	5.8	10.3	2.3	6.5
(性別)									
男性	1217	29.3	18.8	4.9	6.1	8.8	14.4	3.0	6.5
女性	1330	32.3	17.7	8.9	7.0	7.0	13.6	2.9	6.3
(世帯構成)									
一人暮らし	260	43.1	1.9	18.1	16.5	-	18.1	4.2	8.1
一世帯世帯	1077	29.5	25.9	7.1	7.8	12.2	12.9	2.7	6.2
二世帯世帯	723	30.0	14.9	5.5	4.8	8.0	17.3	3.5	7.3
(本人と子)	644	29.0	14.8	5.3	4.7	7.3	17.2	3.6	7.0
(本人と親)	79	38.0	16.5	7.6	6.3	13.9	17.7	2.5	10.1
三世帯世帯	435	28.5	15.2	3.2	0.7	2.1	8.3	1.8	3.2
その他の世帯	52	30.8	13.5	3.8	3.8	3.8	17.3	1.9	15.4
(子どもの有無)									
いる	2370	30.4	18.4	6.2	6.0	7.6	13.5	2.7	6.2
いない	177	37.9	16.9	17.5	13.6	11.9	20.9	5.1	8.5

(単位：%)	安心して住める家がないこと	趣味や生きがいがないこと	その他	心配ごとはない	わからない	心配ごとがある(計)
【60歳以上】						
総数	1.4	1.4	4.3	46.3	0.8	52.9
(都市規模別)						
大都市	1.9	1.4	4.2	43.8	0.9	55.3
中都市	1.4	1.2	4.4	45.0	1.0	54.1
小都市	0.8	1.8	3.8	48.7	0.3	51.0
町村	1.3	1.6	5.2	50.3	1.0	48.7
(性別)						
男性	1.1	1.3	3.9	46.8	0.9	52.3
女性	1.7	1.5	4.7	45.8	0.7	53.5
(世帯構成)						
一人暮らし	2.3	1.5	3.5	36.2	1.2	62.7
一世帯世帯	1.0	1.6	3.2	47.3	0.6	52.1
二世帯世帯	2.1	1.7	6.5	44.5	0.8	54.6
(本人と子)	2.3	1.9	5.7	45.7	0.8	53.6
(本人と親)	-	-	12.7	35.4	1.3	63.3
三世帯世帯	0.2	0.7	3.9	54.0	0.9	45.1
その他の世帯	3.8	-	3.8	36.5	-	63.5
(子どもの有無)						
いる	1.1	1.4	4.3	47.0	0.8	52.2
いない	4.5	1.1	4.0	37.3	-	62.7